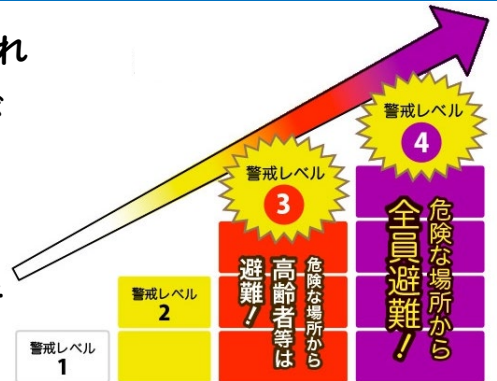


令和8年5月29日から

風水害時の避難場所が変わります

令和8年5月29日に気象庁が発表する防災気象情報が変更されます。そのため、南区でも、災害に応じた避難場所の追加及び変更をします。

今後、**レベル4危険警報**が発表された後、災害リスクが高まっている地域に避難指示を発令し、状況に応じて下記の避難場所を優先して開設します。



土砂災害

いままで

土砂災害警戒情報
(横浜市南部)

- ・清水ヶ丘地域ケアプラザ
- ・永田地区センター
- ・六ツ川一丁目コミュニティハウス
- ・睦コミュニティハウス

これから

((●)) レベル4
土砂災害危険警報 + 南区の
降雨状況
(横浜市南部)

- ・清水ヶ丘地域ケアプラザ
- ・永田地区センター
- ・六ツ川一丁目コミュニティハウス



内水氾濫 (大雨による下水道管などからの浸水)

いままで

レベル4相当の
気象情報なし

状況に応じて選定し開設

これから

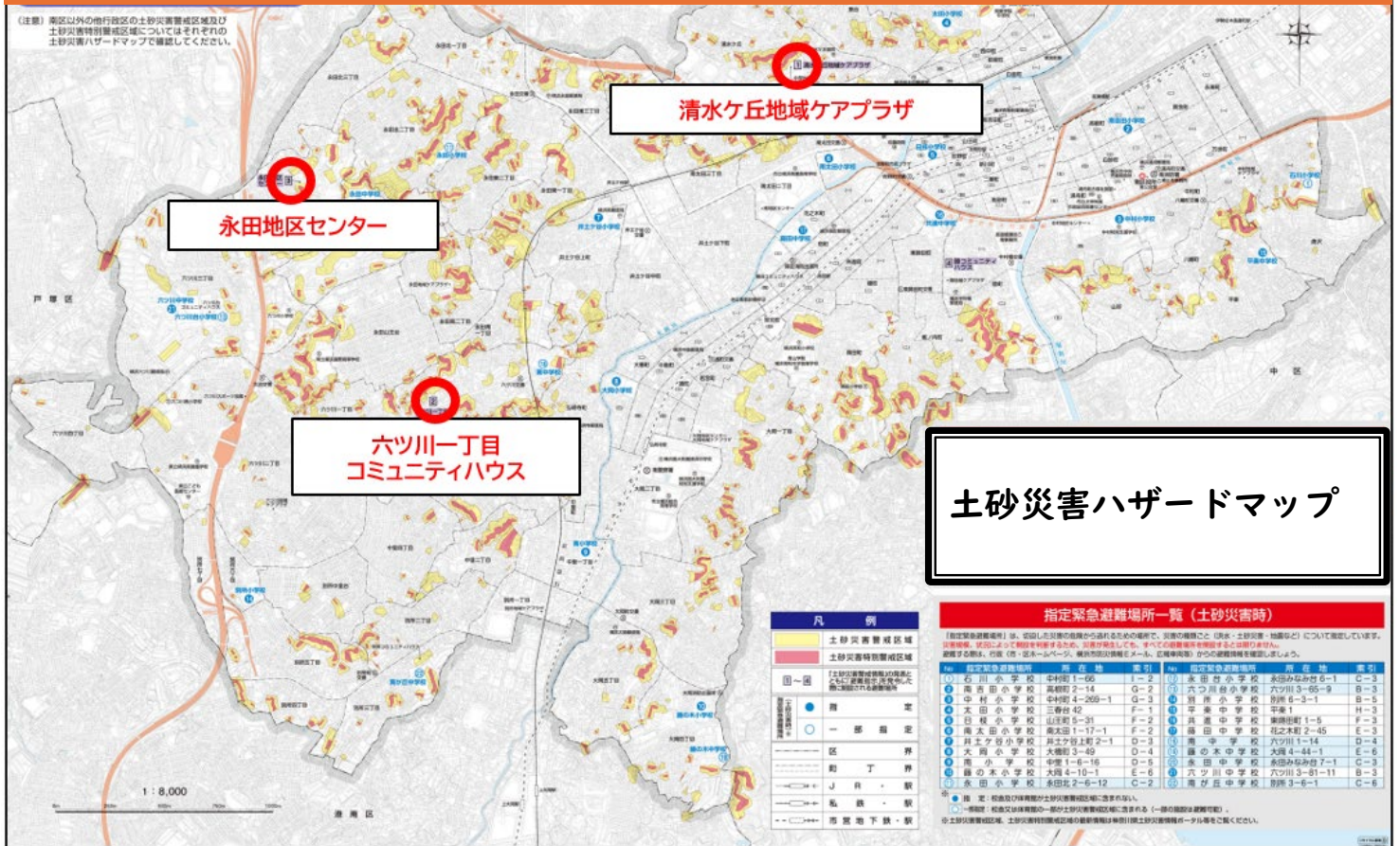
((●)) レベル4
大雨危険警報 + 南区の
降雨状況
(横浜市南部)

- ・井土ヶ谷小学校 (体育館)
- ・大岡地区センター
- ・中村地区センター

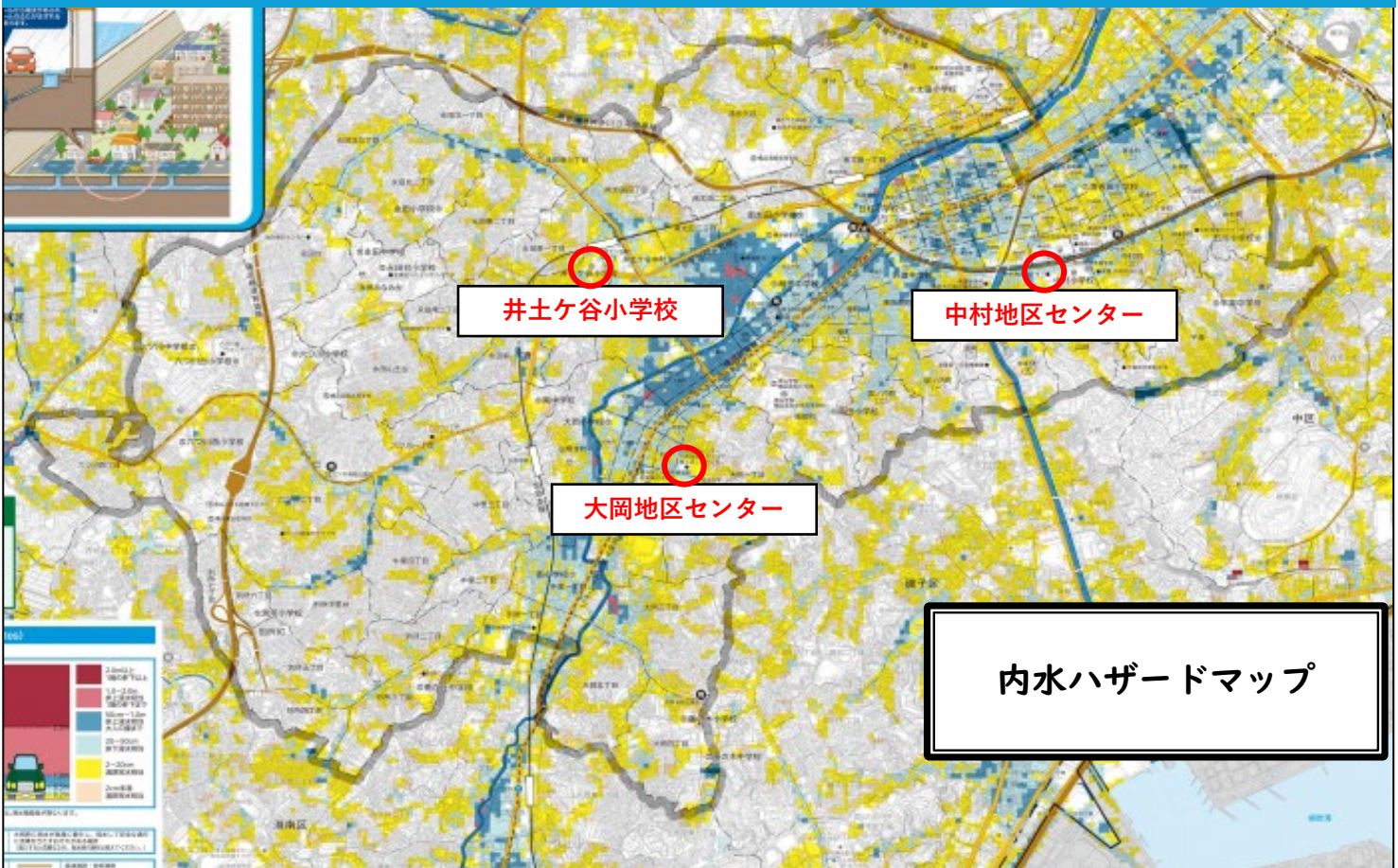
※ 洪水、高潮に対しても優先して開設します。

※ 気象の状況に応じて、この他にコミュニティハウス等を避難場所として追加開設します。

土砂災害の避難場所



内水氾濫の避難場所



※ 警戒区域等の詳細は各ハザードマップをご覧ください。